

基本目標	施策の方向	指標項目	基準値 (年度)	目指す方向	目標値 (令和5年度)	実績 (令和5年度)	目標値 (令和6年度)	実績 (令和6年度)	目標値に対する現状分析、課題	目標値 (令和7年度)	担当課
Ⅲ 安心して暮らせる環境づくり	1 複合的に困難な状況に置かれている人々への支援	地域包括支援センターで受ける総合相談件数	10,916件 (令和2年度)	↗	14,000件	12,674件	14,000件	13,042件	前年と相談件数及び高齢者人口の変化を比較すると、高齢者人口が約0.4％増に対して、相談件数は約2.9％増加であり、微増の水準にとどまっていることから、相談者の裾野に広がりがあり見られない状況と推定される。 そのため、地域包括支援センターに関する啓発活動に引き続き務めるとともに、民生委員など関係組織・機関との連携を深め、地域での困りごとや介護サービスに関する相談が地域包括支援センターに繋がるよう務めていく。	14,000件	地域包括ケア推進課
		福祉施設から一般就労への移行者数（累計）	16人 (令和2年度)	↗	93人	83人	115人	111人	就労移行支援等の推進により、障がいのある人の福祉施設から一般就労への移行者は増加している。引き続き、支援体制の確保、サービスの質の向上を図っていく。	140人	障がい福祉課
		遺児手当受給者数	1,185人 (令和2年度)	→	1,123人	1,031人	1,031人	1,047人	受給者数は、基準値（令和2年度）から微減している。支援が必要なひとり親世帯に対して、適切な案内及び支給事務を行っていく。	1,047人	こども政策課
		ひとり親相談の延べ件数	965件 (令和2年度)	↗	1,000人	894人	1,000人	726人	支援ニーズに対して、適格なアセスメントに基づく一貫性・継続性のある支援を提供した。	1,000人	子育て世代包括支援センター
		民生委員・児童委員の相談・支援件数	4,900件 (令和2年度)	↗	6,300件	6,684件	6,800件	6,461件	民生委員活動のさらなる周知を図り、地域へ今後も繋ぎ役として幅広い活動を目指す。	6,800件	福祉総務課
		外国人相談件数	11,351件 (令和元年度)	↗	12,900件	11,868件	12,900件	13,892件	令和5年度に多文化共生推進室の窓口に新たにベトナム語の外国人相談員を配置したこと周知が進み、ベトナム語の相談件数が増加した。相談員を配置していない言語についても遠隔通訳サービス等を活用し、引き続き相談対応を行う。	13,900件	多文化共生推進室

基本目標	施策の方向	指標項目	基準値 (年度)	目指す 方向	目標値 (令和5年度)	実績 (令和5年度)	目標値 (令和6年度)	実績 (令和6年度)	目標値に対する現状分析、課題	目標値 (令和7年度)	担当課
Ⅲ 安心して暮らせる環境づくり	2 男女共同参画の視点からの防災の取組	地区防災訓練実施に伴う女性の参加率	50% (令和3年度)	→	50.0%	34.8%	50.0%	41.6%	地域に昔から住む男性が中心となるイメージを持ち、女性が参加しにくい現状がある。女性が担う役割があることを継続して周知する必要がある。	50.0%	防災危機管理課
		女性消防クラブ指導者科入校者数	9人 (令和元年度)	→	8人	7人	9人	9人	体調不良等の理由から、欠席者が出るのはやむを得ないが、災害時に女性が活躍できる知識、技術を習得するよい機会であるため、婦人消防クラブ連絡協議会役員に対し、女性消防クラブ指導者科への参加を働きかける。	9人	消防総務課
		職員及び地区の防災訓練において男女共同参画の視点に基づいた避難所運営の啓発等を実施した回数	36回 (令和2年度)	↗	60回	77回	60回	72回	小学校区の防災訓練等で男女分け隔てなく避難所設営に参加していただいている。今後も各種防災訓練等で生理用品等の備蓄や要配慮者避難スペースが確保されており、避難しやすい環境であることを周知する必要がある。	60回	防災危機管理課
	3 人権についての正しい認識と人権侵害への予防	人権教室の実施校数	〔3校〕 小学校1 中学校2 (令和元年度)	↗	3校 小学校2 中学校1 (保育園2)	3校 小学校2 中学校1 (保育園2)	3校 小学校2 中学校1 (保育園2)	3校 小学校2 中学校1 (保育園2)	小牧市立の小中学校（保育園）を対象にローテーションで実施している。学校の希望に応じて人権教室を実施しており、今後も学校と生徒人数、講座方法等調整しながら実施する。	3校 小学校2 中学校1 (保育園2)	市民安全課
		小牧市DV対策基本計画に基づいて進める	—	—	—	—	—	—	計画内容の一部改訂の小牧市DV対策基本計画（令和6年度～令和10年度）を策定した。	—	子育て世代包括支援センター
		さまざまな人権問題に関する周知活動実施件数	3件 (令和2年度)	↗	4件	4件	4件	4件	男女共同参画週間、男女共同参画月間、女性に対する暴力をなくす運動にちなみ、市内公共施設にて啓発パネル展を3件実施し、また、若年層へのデートDV防止のための意識啓発資料として「デートDV手帳」を中学校・高校へ配布し、目標値に到達した。 引き続き、周知活動を実施していく。	4件	多世代交流プラザ
		小牧市児童虐待対策基本計画に基づいて進める	—	—	—	—	—	—	—	—	子育て世代包括支援センター
		「SOGI」について、言葉も内容も知っている市民の割合	3% (令和3年度)	↗	—	—	—	—	—	—	多世代交流プラザ
	4 づくりの生涯を通じた健康支援	ウォーキングアプリ「aiko」ダウンロード者数	13,986人 (令和2年度)	↗	23,000人	24,610人	26,500人	28,365人	ダウンロード者数は、順調に増えており、また、実稼働者数についても1万人を超える方に利用いただいている状況が続き、健康づくりの習慣化につながっているものと推察する。 今後に向けては、更に働き世代や子育て世代を中心とした健康づくりに時間を取りづらい世代に対し、活用していただくような取り組みを推進する必要がある。	30,000人	健康生きがい推進課

基本目標	施策の方向	指標項目	基準値 (年度)	目指す 方向	目標値 (令和5年度)	実績 (令和5年度)	目標値 (令和6年度)	実績 (令和6年度)	目標値に対する現状分析、課題	目標値 (令和7年度)	担当課
Ⅲ 安心して暮らせる環境づくり	4 生涯を通じた健康づくりのため の支援	自分自身を好きと言える市民の割合	73.0% (令和元年度)	↗	80.0%	—	—	—	秘書政策課による市民意識調査の結果を健康日本21こまき計画の指標項目としていたが、R6年3月策定の小牧市健康づくり推進プランからは指標項目に挙げておらず、また、市民意識調査においても調査項目から外れたため令和5年度実績値は測定できず。	—	保健センター
		子宮がん検診（集団・個別）受診率	3.4% (令和2年度)	↗	3.9%	4.0%	4.1%	3.6%	目標値より低下した。医療機関での検診者数が減少している。個別通知も含めて受診勧奨方法を検討していく。無料クーポン券利用者が継続受診できるようにしたい。	4.1%	保健センター
		乳がん検診（集団・個別）受診率	3.8% (令和2年度)	↗	4.3%	4.3%	4.4%	4.3%	目標値、昨年度実績と横ばいであった。令和7年度も子宮がん検診と乳がん検診の同日開催日（集団）を設定し、受診率のさらなる向上を目指していく。	4.4%	保健センター
		利用者支援事業相談件数	1,305件 (令和2年度)	↗	2,000人	1,948人	2,000人	2,080人	妊婦・産婦、子ども及び保護者等の選択に基づき教育・保育・保健等の子育て支援サービスが円滑に利用できるよう必要な支援を実施。	2,100人	子育て世代包括支援センター